

# アルストロメリア越冬時の加温温度と 生育・開花及び燃油コスト低減

花き・園芸部

## 1. 背景・目的

アルストロメリアは施設で複数年栽培し、冬期間は最低室温を3℃程度に加温しています。しかし近年の燃油高騰により燃油コストがかさんでいます。

そのため、越冬時の低コストな加温温度を検討し、その生育・開花特性及び燃油コストを明らかにしました。



## 2. 成果内容

### (1) 越冬時の加温温度

最低室温0℃とすることで、3℃とした場合と同様に株の維持・採花ができます。

(以下は3℃と比較した0℃の場合)

### (2) 採花本数

冬春期の採花本数は少ないですが夏秋期は多く、年間では同等以上の本数を確保できます。

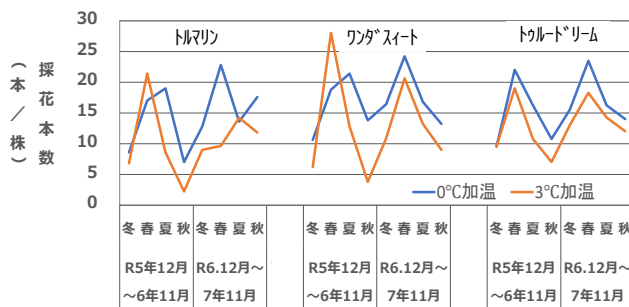


図1 加温温度別の採花本数

### (3) 切り花品質

切り花品質は同等で、2L+Lの割合も同等以上となります。

なお、3℃と同様、低温障害が発生する品種がありますので注意が必要です。

表1 加温温度別の切り花品質と越冬時の障害

品 種	越冬時の加温温度	開花数 (個)	莖径 (mm)	調整重 (g)	2L+L率 (%)	越冬時の障害
トルマリン	0℃加温	5.2	7.5	64.8	88	-
	3℃加温	5.2	7.0	58.9	72	-
ワンダースイート	0℃加温	5.7	6.4	53.1	79	葉先枯れ
	3℃加温	5.3	6.1	48.6	53	葉先枯れ
トゥルードリーム	0℃加温	5.7	7.9	74.4	94	-
	3℃加温	5.5	7.8	73.0	89	-

### (4) 燃油コスト

燃油コストを70%程度、削減できます。

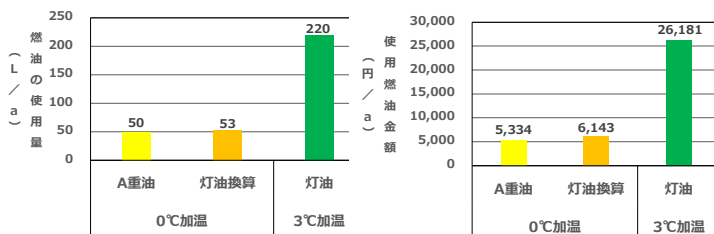


図2 燃油の使用量

図3 使用燃油の金額

## 3. 成果の活用等

- ・アルストロメリアの越冬時の加温温度の参考となります。
- ・暖房コストの低減により、経営費の削減が期待されます。